

～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター循環器内科では、下記の研究を行います。

「急性冠症候群患者における 12 誘導心電図での左脚中隔枝ブロック所見の臨床的特徴に関する研究」

この研究は、条件を満たす患者さん全員を対象といたします。情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

■ 研究の対象となる患者さん

2017 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに当院循環器内科に急性冠症候群の診断で入院し、冠動脈カテーテル治療を行った患者さん

■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に、診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報 は厳重に保護した状態で行います。

■ 研究の概要

• 研究の目的及び意義

心筋梗塞や不安定狭心症では、心臓の筋肉を栄養する血管（冠動脈）が閉塞・狭窄することで、心電図に特徴的な所見が現れます。心臓の筋肉には刺激伝導系と呼ばれる電線が張り巡らされており、心筋梗塞ではその電線への血流が悪くなることで伝導障害を起こすことがあります。その電線のうち、左脚中隔枝と呼ばれる分枝の伝導障害の所見（左脚中隔枝ブロック）が、心筋梗塞でも現れるというごく少数の報告はありますが、その詳細はいまだ不明です。この研究では、心筋梗塞・不安定狭心症の患者さんにおける左脚中隔枝ブロックの頻度や臨床的特徴について調査します。

• 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2025 年 12 月 31 日

• 研究の方法

心筋梗塞や不安定狭心症に対する緊急カテーテル治療を行った患者さんで、診療録などから治療前後の心電図を調査します。左脚中隔枝ブロック所見の頻度や、閉塞している血管の部位や命に関わる不整脈発生の有無などの臨床的特徴を調査します。

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

本研究は、資金を要しない研究です。

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

■ 研究の実施体制

研究代表者：	国立病院機構	横浜医療センター	循環器内科	齋藤 貴士
研究分担者：	国立病院機構	横浜医療センター	循環器内科	松井 優子
	国立病院機構	横浜医療センター	循環器内科	菊池 健介
	国立病院機構	横浜医療センター	循環器内科	森 文章

■ ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

循環器内科 齋藤 貴士

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621（代表）※平日 08：30～17：15